



BUNKYO UNIVERSITY
Graduate School of
Language and Culture

文教大学大学院言語文化研究科公開講演会2013

説話文学研究余滴

稲垣 泰一(本学教授)

外国語教育と 言語理論

岸田 直子(本学教授)

流れ着いたその先で
変わるものとは？

開催日 **10月5日(土) 13:30**
~16:10
会場 文教大学越谷校舎12号館12101教室
アクセス 北越谷駅下車西口徒歩10分
聴講 無料 定員 200名(先着順)

講師紹介

稲垣泰一



東京都生まれ。東京教育大学大学院博士課程単位取得退学。筑波大学大学院教授を経て、現在文教大学文学部教授。筑波大学名誉教授。専門は「今昔物語集」を中核とする古代・中世説話文学、仏教文学、表現学、および寺社縁起の研究。主な著書に「日本の心・日本の説話」一〜三(大修館書店)、表現学大系「事記と説話の表現」(教育出版センター)、「考訂今昔物語」前編・後編(新典社)、「寺社略縁起類聚I」(勉誠社)、新編日本古典文学全集「今昔物語集」①〜④(小学館)、「となりの神様仏様」(小学館)などがある。その他、辞典、事典類の執筆も多数。

岸田直子



長野県生まれ。東京教育大学大学院文学研究科修士課程修了。立正女子大学(現文教大学)教育学部講師を経て、現在文学部教授。専門は、英語学と英語史。後期中英語の統語論を中心に、パストン家書簡集という手紙文を解読することで、当時の口語英語の実態を推測し、現代英語との構造上のちがいの解明について研究。主な研究業績に「英語属格の発達についての覚書」(『文教大学文学部紀要』18-2号、2005,3) "On the development of the x-genitives" (文教大学英語英文学会『英語英文学』38号 2011.3) などがある。

主催 文教大学大学院言語文化研究科
共催 文教大学文学部、文教大学大学院附属言語文化研究所

問い合わせ 文教大学大学院言語文化研究科準備室 TEL.048-974-8811(内線2300)
受付時間:月~金9:00~17:00 bkgb-gs@koshigaya.bunkyo.ac.jp